

337 中央大学学術講演会

〔『法学新報』第23巻6(265)号 大正2年6月1日〕

○中央大学学術講演会 去月十五日午後一時より中央大学に於ては大講堂に於て岡野博士司会の下に学術講演会を開催し法学博士坂谷芳郎氏は経済上の所感と題し一時間以上に亘り最も有益なる講演あり了て法学博士高橋作衛氏は目下喧しき日米間の問題に付き其由来を詳論せられ満堂の聴衆孰れも熱心に傾聴し

其終りを告ぐるや暮色蒼然たるものあり予定の講演者尚ほ数名ありたるに拘らす伊藤理事は立て閉会を宣し各自退散したり時に午後六時を過く仍ほ前記両氏の講演は追て本誌上に掲載すへき予定なり